

平成26年度 島根県立大社高等学校 学校評価報告書

	評価項目		生徒による評価					保護者による評価					教員自身による自己点検・評価				自己総合評価	学校関係者評価 (委員からの意見・提案等)	次年度への課題と対策
			1年	2年	3年	全体	H25	H24	H26	H25	H24	評価項目			H26	H25			
学習指導	1	本校では、生徒が意欲的に取り組み、かつ効果が上がる学習指導ができていますか。	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	3.0	1	研究授業・公開授業・授業評価等の実施により指導技術の改善と共有化が図られたか。	2.8	2.9	2.6	B	<p>○家庭学習時間が十分に確保できていない生徒も見られる。部活動との両立は大変であるが、やるべき時に集中して学習に取り組むよう、早い時期から将来の進路に対する意識付けを行っていくべきである。</p> <p>○休日の勉強場所として「有朋館」(卒業生会館)を開放しているが利用人数が少ない。ただ、試験期間など他の施設を利用して学習しているものも多く、学校開放の成果があまりでない。生徒アンケートなど実施して意見を聞き、利用しやすくする工夫をしてはどうか。</p> <p>○母校愛を育み、高校時代の思い出がしっかりと語れる卒業生を多く輩出してほしい。そのため、もっと卒業生会を活用し、学校や地域の歴史についての理解を深めたり、先輩方の高校時代の話や生き方に接するとよい。それが、自己の進路選択につながるだけでなく、中学校や地域へのアピールになるのではないかと。</p>	<p>○授業評価、学習時間調査の結果を迅速にフィードバックできなかった。次年度は、内容を十分に分析し、教科会・学年会へ学力向上に関する情報提供・問題提起をしていきたい。</p> <p>○公開授業期間を2週間設定し、互いの授業を参観した。今後とも研究(公開)授業の回数を増やし、教科会や個々での意見交換を通して、授業力の向上・改善に役立てたい。</p> <p>○家庭学習時間を含め、学習習慣が定着していない状況である。全校一斉学習時間調査の実施時期を考えて回数を増やしていく。</p>
	2	本校の教職員は熱意をもって授業をしていますか。	3.2	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	2	各教科と連携しながら生徒が意欲的に取り組み、かつ効果が上がるように補習(土曜・放課後)内容の工夫・充実が図られたか。	2.9	2.7	2.6				
	3	本校では、家庭学習習慣の確立を通して、基礎学力の充実を図り、自ら学ぶ姿勢を育てる指導をしていますか。	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	2.9	2.9								
進路指導	4	本校では、生徒一人ひとりの志望に応じた進路指導が行われていますか。	3.3	3.1	3.4	3.3	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3	進路希望調査やスタディサポート等を通して、生徒の進路希望や思いを的確に把握し、担任と協力してアドバイスや相談ができる体制を整えていたか。	3.1	2.9	2.7	B	<p>○各担任は、スタディサポートや模試結果等を十分に分析し繰り返し面談を行ない、生徒一人ひとりの進路目標達成に向けて具体的なアドバイスをしていく。さらに全国や県の結果と比較分析して、本校並びに各学年の課題を明らかにし、生徒への指導に活かしたい。</p> <p>○合格体験記である「栄冠への道」や「進路の楽」をLHR等の時間も利用して有効に活用していきたい。低学年からの進路意識の高揚を目指し、進路指導部主導でその活用方法を示したい。</p> <p>○総合的な学習については、内容を精選しスリム化していく必要である。担任の負担軽減のためにも基本的に副担任主導とし、その実施時期と分量についても考慮していきたい。</p>	
	5	本校では、低学年時から進路意識の高揚を図る取り組みが行われていますか。	3.5	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	4	進路講演会や学校説明会の実施、「栄冠への道」「進路のしおり」「進路便り」等の発行により、生徒及び保護者に有効な進路情報を提供したか。	3.2	3.0	3.0			
	6	本校では、進路に関する適切な情報提供が行われていますか。	3.3	3.1	3.3	3.2	3.2	3.1	2.9	2.8	2.9	5	総合的な学習において、各プログラムのねらいを明確化した指導計画・指導案を作成し、その効果的な実施が行えたか。	2.7	2.9	2.9			
	7	本校での「総合的な学習」は、進路選択等に役立っていると思いますか。	3.4	3.1	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	2.9								
生徒指導・部活動	8	本校の教職員は、部活動の加入や指導において、熱心に取り組んでいると思いますか。	3.4	3.3	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2					B	<p>○毎年、教育系、看護系の進路希望者が多く聞く。県内において大社高校出身の看護師は多いが、今後は大社高校出身の教員を増やす必要がある。今後益々選ばれる時代となる。県助成金の利用も紹介し、できるだけ長期間学習できる環境に進学し、自ら考え行動する力並びにチームや組織の一員として力を発揮できる均整のとれた看護師、教員を育ててほしい。</p>		
	9	本校では、規律ある生活習慣の確立について適切な指導が行われていますか。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	6	端正な身なりと場に応じた言動ができるよう、全教職員で指導できたか。	2.7	2.6			2.5	
	10	本校では、交通マナーの向上や交通事故防止に対して熱心に取り組んでいると思いますか。	3.3	3.2	3.3	3.2	3.0	3.0	2.9	2.8	2.9	7	自転車通学生のマナー向上を図るための指導ができたか。	2.9	2.6			2.7	
保健相談	11	本校では、あなた(お子さん)が悩んでいるときに相談に乗ってくれていると思いますか。	3.1	2.8	3.2	3.0	3.0	2.9	3.0	2.9	2.9	8	保健室に来室した生徒本人の訴えをよく聴き、問題点を解決できるようにアドバイスしたか。	3.0	2.9	3.2	B	<p>○いかに生徒の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組ませることが大切になる。さらに、自ら考えて行動できる生徒を育成するために、様々な機会を通して「幅広い人間力」を身につけさせてほしい。</p>	
人権	12	本校では、人権を尊重する意識を育てる指導を適切に行っていると思いますか。	3.1	3.0	3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	9	HR活動における人権・同和教育を充実できたか。	3.0	2.9	2.8	A	<p>○人権LHRの授業研究をすることにより、校内研修の機会としたい。さらに人権LHRを今年度他校に公開したが、今後とも、地域・他校あるいは異校種との交流を段階的に進めていきたい。○教職員研修にできるだけ全員参加できるような実施日時を設定する。</p>	
図書	13	本校では、読書の推進や図書館利用の促進について適切な指導が行われていると思いますか。	2.7	2.7	2.9	2.8	2.7	2.6	2.7	2.6	2.7	10	機会をとらえて広報活動を行い、図書館利用の促進に努めていたか。	3.0	2.8	2.8	B	<p>○読書意欲の喚起に努め、生徒の自己評価では「読書の時間を取り入れるようにしている」という回答が微増した。今後ともパソコンの利用充実、図書委員会活動の内容と実施時期などの再考、「図書館だより」等の効果的な情報発信の仕方の工夫・改善等を通して生徒の図書館利用を促進させたい。</p>	
家庭・地域連携等	14	本校の現状がわかる情報が、ホームページや学校便り(社高の風)などにより適切に提供されていますか。	3.1	3.0	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	11	学校便り(社高の風)やHPなどを通じて、積極的な広報活動が行えたか。	3.3	3.2	3.1	A	<p>○県内唯一の体育科の魅力、部活動の様子や大会結果および進学実績などを、もっとアピールしてもらいたい。生徒達が社高高校においてどれだけ成長したか保護者や地域あるいは中学校等に発信するのに、さらにホームページやオープンスクールの内容を工夫してもらいたい。</p>	
	15	本校からの文書連絡は、保護者の方に確実に届いていますか。						3.2	3.1	3.2	12	オープンスクールの充実を図るため、中学校への積極的な呼びかけや実施内容の工夫が行えたか。	3.3	3.3	2.9				
			13	高校説明会・公開授業等を充実させ、本校への理解促進や中高における教科間の連携に努めることができたか。	3.0	2.8	2.6												
学校運営	14										14	定期的に「社高の明日を考える会」の会合を行い、本校の中長期的な展望を明確にし、全教職員で共有するよう努めていたか。	2.9	2.9	B	<p>○今年度は重点目標に「ふるさと教育の推進」(観光資源の活用)を掲げ、一年生の遠足は大社町内を徒歩で散策した。来年度以降もぜひ継続させて、より内容を充実させてほしい。積極的に地域・地元企業との結びつきを深め、遠慮せずに活用してほしい。</p>			
舍務	15										15	寮生のライフスキルが向上するように指導できたか。	3.2	3.0	2.9	A	<p>○寮内の美化や一人一日一奉仕活動の実践が良好であり、寮生のライフスキルは確実に向上している。今後も教職員間の連携を密にして、生活の場面場面で思いやり・感謝・応援の心を養い、コミュニケーション能力の育成を図りたい。</p>		
総括	16	あなたは(お子さんを)本校に入学して(させて)良かったと思いますか。	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5								